

学校だより

豊かっ子



喜多方市立豊川小学校

令和2年9月15日(火)

発行者 校長 遠藤 信恵

第10号

【教育目標】 健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成

◎ (心も体も) つよい子 ◎ (自然と友達に) やさしい子 ◎ (真剣に) まなぶ子

学力向上をめざす校内研修の取組 ～第2回授業研究会～

4日(金)、今年度2回目となる授業研究会を6年生で行いました。これまで、拡大図や縮図、縮尺について学んできたことを、実際の生活にあてはめて考える授業で、直接測ることのできない校舎の高さを、どうすれば求めることができるかという課題に取り組みました。はじめは戸惑いを見せた子ども達ですが、「縮図をかけば求められる」という児童の発言をきっかけに、縮図が直角三角形になることに気づくことができました。さらに、縮図をかくためには、1/200、1/100などの縮尺はどうするかというのも悩みどころでした。6年生らしいレベルの高い学習内容でしたが、早く気付いた児童が隣の児童に教えたり、自力で解決しようとねばり強く取り組んだり、一人一人が真剣に課題に向き合う姿が見られた授業でした。



【考え方をわかりやすく説明】

授業を参観して、毎時間の学習内容の理解・定着の積み重ねがとても大切であることを改めて感じました。授業で理解はできても、定着のためには家庭での復習は欠かせません。今後は、教師の授業力向上とともに、家庭学習の充実にもより一層力を入れていきたいと思えます。

見て、触って「海」を体感！ ～移動水族館～

2日(火)、子ども達が待ちに待ったアクアマリンふくしまの移動水族館がやってきました。タッチプールでは、ヒトデ、ナマコ、ウニをはじめたくさんの魚が泳ぎ、恐る恐る手を入れた子ども達は、歓声を上げながら触れ合っていました。なんと



【ナマコって柔らかい！】

とっても一番人気はネコザメです。穏やかな性格で、子ども達の手の中でもゆったりと泳ぎ、「かわいい～！」の声の連発でした。また、会議室には、海洋生物の剥製や標本に触ることができるハンズオンのコーナーが設けられました。子ども達は、アザラシの剥製に抱きついたり、マンボウの大きさに驚いたり、所員さんから出されたクイズに答えたりと、楽しみながら学んでいました。「海」を体感する貴重な経験でした。



【タカアシガニに興味津々】

陸上競技の楽しさを味わう ～陸上教室～

4日(金)、仙台市を中心にランニング指導団体「ランナーズハイ」の代表をされている一ノ関祐輔さん(福島大学卒、陸上競技部所属)を講師に、6年生で陸上教室を行いました。

まずは、「しっぽ鬼」でウォーミングアップ。その後、空き缶つぶしやつま先歩き・つま先走りで足を振り下ろす動作を確認したり、スタートダッシュや腕の振り方を練習したりしました。そして、チームの代表児童が練習の最初と最後に50mのタイムを計ったところ、ほとんどの児童が最初の記録を更新することができ、練習の成果をみんなで喜び合いました。最後のリレー対決では、応援や歓声上がるなど大いに盛り上がりました。速く走るコツや技術を楽しむことができ、子ども達は大満足でした。



【最後は笑顔で「はい、チーズ！」】

陸上教室終了後、講師の一ノ関さんとお話をした際、指導する団体が感染防止のために集まって練習ができなかった時に、オンラインで自分の力で練習を続けてきた子ども達が、今、徐々に再開された大会で力を発揮して活躍していることをうかがいました。どんな状況にあっても、できること・やるべきことをひたむきに続けることこそ、逆境から道を拓く鍵になることを教えてくれるお話でした。

実りの秋！ オリジナル「かかし」づくり

4日（金）、農業科支援員の只浦さんをお招きして、5・6年生がかかしづくりを行いました。事前に班ごとにかかしのデザインを考えておき、当日は様々な材料をもとに工夫を凝らし、協力し合って楽しみながら取り組みました。完成したかかしはどれもユーモアたっぷりで、ちゃんと名前やアピールポイントもあり、只浦さんからも褒めの言葉をいただきました。稲刈りは9月29日（火）を予定しています。



【「トム」は美脚が自慢です！】

2学期最初の「あいさつ名人」です

11日（金）の全校集会で、児童会の運営委員長から「あいさつ名人」の表彰がありました。

1年 江川 隆亮 さん	2年 結城 豊湧 さん	3年 安部 愛理 さん
4年 雪 舞依夢 さん	5年 十二村南斗 さん	6年 折笠 快斗 さん

上手に気持ちを伝えよう！

4日（金）の全校集会では、今年度2回目となる SST（ソーシャルスキルトレーニング）を行いました。SST とは、社会の中で人と人が関わりながらよりよく生きていくために必要なスキルを身につけるためのトレーニングのことです。

今回の SST は、「上手な気持ちの伝え方」について、①自分も相手も大切にしたい自己表現の仕方について理解する。②「上手な気持ちの伝え方」を体験することで、自分も相手も大切にしたい自己表現の仕方を身に付ける。の2つをねらいとして実施しました。

友だちから「今週の土曜日、一緒に遊ぼう！」と誘われました。でも、土曜日は、家族で出かけることになっています。



【先生方も熱演】

という場面設定で、4人の先生方が子ども役（誘う友達「スネ夫」、誘われる友達「のび太」「ジャイアン」「しずかちゃん」）になり、友だちの誘いを断るときの気持ちの伝え方をそれぞれのキャラクターに合わせて演じました。うつむいて小さな声で「う、うん…」としか言えないのび太。「ダメに決まってるだろう！」と怒鳴るジャイアン。そして、「ごめんね。遊びたいけど、家族で出かけるから遊べないんだあ。でも、また別な日に遊ぼう。」と優しく伝えるしずかちゃん。演技の後、それぞれの気持ちの伝え方について子ども達から感想を発表してもらい、しずかちゃんの気持ちの伝え方のよいところを全体で確認しました。その後、全校児童で、しずかちゃんをまねて「上手な気持ちの伝え方」を練習しました。中には自分なりに伝え方を工夫する子どもも見られ、少し照れながらも笑顔で練習していました。



【「ごめんね。遊べないんだあ…。」】

これまでの学校生活の中で、気持ちが上手に伝えられないために相手を傷つけたり自分が傷ついたり、場合によっては、トラブルに発展してしまったりすることもありました。今回の SST を通して、どんな場面でも相手の気持ちを大切にしながら自分の気持ちをきちんと伝えられれば、自分も相手も気持ちよく生活できるということに気づき、生活の中で実践していこうという意欲をもってくれたら嬉しいです。家庭や地域の中でも子ども達の言動で気になることがありましたら、「上手な気持ちの伝え方」について具体的にご指導ください。